

文部科学省の示す記載要領を基準としています。

教育研究業績書

「研究分野」は、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記載してください。
 「研究内容のキーワード」は、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記載してください。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

氏名 〇〇 〇〇

希望職位

教授 ・ 准教授 ・ 講師 ・ 助教

※ いずれかに○を付けてください。(複数選択可)

研究分野

研究内容のキーワード

〇〇〇学

〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 ・大学附属病院における看護教育プログラムの開発 ・臨床実習における各領域共通のチェックリスト導入の試み	平成〇年〇月	〇〇大学附属病院において、新人看護教育の評価表を開発し、それを適用した結果を評価した。 大学における看護技術教育では、学習到達目標が各領域別に設定されており、学生の視点に立ち、卒業までに修得すべき看護技術を網羅的に経験した上で評価する必要があることから、全領域共通の看護技術チェックリストを作成して試行した結果、有効であることが示唆された。
2 作成した教科書, 教材 ・褥瘡のすべて ・臨床看護セレクション、褥瘡患者の看護技術—最新の知識と看護のポイント	平成〇年〇月 平成〇年〇月	褥瘡ケアについて、あらゆる方面からの最新知識について記載した。筆者は、特に、在宅における「褥瘡患者ケアのクリティカルパス」の部分執筆した。(pp.221-232) 褥瘡患者に対するケアの最新知識についてまとめた。筆者は、在宅における「褥瘡患者のクリティカルパス」を執筆した。(pp.142-149)
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ・〇〇大学〇〇学部看護学科教授 ・〇〇大学大学院〇〇研究科博士前期課程〇〇特論非常勤講師	平成〇年〇月 平成〇年〇月	看護学講座における看護教育分野について、特に優れた経験と見識を有する者と評価され、教育上の能力を十分に有する担当教員として採用された。 大学院博士前期課程の教育について、優れた経験と見識を有する者と評価され、教育上の能力を十分に有する担当教員として採用された。
4 実務の経験を有する者についての特記事項 ・「〇〇について」 ・「□□について」	平成〇年〇月から現在	左記の事項について、約〇〇件程度の講演依頼があり、一般看護職を対象に教育活動を行っている。
5 その他 標準的な看護実践や安心できるサービス供給の視点から、修士論文及び博士論文の助言、指導を行っている。 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻(博士前期課程)修士論文指導 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻(博士前期課程)修士論文指導 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻(博士後期課程)博士論文指導	平成〇年〇月 平成〇年〇月	1 「C型慢性肝炎患者の生活活動強度と予後に関する研究」の副指導、論文概要は標準的な看護指導の基礎資料を得るために地域で生活するC型慢性肝炎患者のライフスタイルと肝機能の関連をみたところ、インターフェロンや強ミノ無効者では生活活動強度が軽いと中程度の人の肝機能がよく、生活指導の重要性が指摘された。 2 「デイケアに通所する精神障害者の生活満足度に関する研究」の副指導、論文概要は安心できるサービス提供のためにデイケアのあり方について示唆を得る目的で通所者の生活満足感調査と参与観察や面接から分析したところ、対人関係や自尊心、自己認知概念などの要因は生活満足度への影響が大きく、これからの要素に対する援助の重要性が示唆された。 3 …

博士及び修士の論文指導の実績を記載してください。

その他 〇〇学に関する 修士論文指導 ○編 博士論文指導 ○編					
職務上の実績に関する事項					
事項	年月日	概要	本人の氏名（下線を付すこと）を含む発明者全員の氏名（多数の場合は主要発明者）を記載してください。		
1 資格, 免許	平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日	看護師免許(登録番号〇〇〇〇号) 保健師免許(登録番号〇〇〇〇号)			
2 特許等	平成〇年〇月〇日	発明者: 〇〇〇〇、〇〇〇〇 「(発明の名称)」特許申請審査請求中 (特願〇〇〇〇号)			
3 実務の経験を有する者についての特記事項 ・〇〇大学附属病院看護師 ・〇〇大学附属病院〇〇病棟管理 ・〇〇県立看護大学整備検討委員会委員	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日	〇〇科病棟に勤務。〇〇疾患患者の術前・術後看護、〇〇治療を受ける患者の看護、・・・などにあたった。 〇〇科病棟師長として、病棟の看護管理を担当した。この間、〇〇大学看護学科(〇〇名/年)、〇〇看護学校(〇〇名/年)の学生の臨床実習を受け入れた。受入に際しては、①・・・、②・・・、③・・・のことに留意した。 委員会委員として、〇〇県立看護大学の設置計画の策定に寄与した。			
4 その他 ・〇〇病院看護部顧問 ・□□病院看護部顧問 ・〇〇株式会社〇〇用食品「〇〇」の商品開発協力	平成〇年〇月～現在 平成〇年〇月～平成〇年〇月 平成〇年〇月	看護部の構築、看護管理者の教育によって看護師の定着率の向上に寄与した。 病院全体の医療の効率化を目指したクリティカルパス法の設計に寄与した。 〇〇向け健康食品である「〇〇」の商品開発にあたって、効果評価研究の実施や商品化にあたっての配合成分に関する助言を行った。			
研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称		単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 〇〇学		単著	平成〇年〇月	〇〇出版	〇〇について記載した。(概要を 200 字程度で)
2 〇〇技法		共著	平成〇年〇月	〇〇書店	〇〇について記載した。(概要を 200 字程度で) 本人担当部分は、〇〇を担当し、〇〇領域別の〇〇実施における特殊技能を解説。第〇章、〇節、題名〇〇〇〇、pp.50-80 (〇〇〇〇、〇〇〇〇、他 5 名)
		共著の場合、著書概要(200字程度)のほか、本人担当部分の章、節、題名、掲載頁を記載してください。 また、本人の氏名(下線を付すこと)を含む著作者全員の氏名(多数の場合は主要共著者。当該著書記載順)を記載してください。			
(学術論文) 1 〇〇〇〇〇〇		単著	平成〇年〇月	〇〇大学〇〇雑誌 第〇巻〇号(博士論文)	〇〇について〇〇法により調査し、〇〇の影響を分析したところ〇〇という結果が得られた。〇〇学博士号の学位論文である。(概要を 200 字程度で)
		(過去 5 年分の論文を対象とする) 博士又は修士の学位論文については、過去 5 年以前であっても記載してください。			
2 〇〇〇〇〇(査読付)		単著	平成〇年〇月	〇〇学会雑誌 第〇巻〇号 pp.〇-〇	(概要を 200 字程度で) 学術論文の場合、雑誌の名称、巻・号、掲載頁はこの欄に記載してください。
3 〇〇〇〇〇〇〇〇		共著	平成〇年〇月	〇〇学ジャーナル 第〇巻〇号 pp.〇-〇	(概要を 200 字程度で) 〇〇〇〇〇〇 (〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇)
4 〇〇〇〇〇〇		共著		〇〇学会雑誌(査読中)	(概要を 200 字程度で) 〇〇〇〇〇〇 (〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇)

(その他) 1 学会発表 (1) ○○○○○○○○	—	平成○年○月	第○回○○学会学術集 会、富山	(概要を200字程度で) 担当部分:○○○○○ (○○○○、○○○○、 <u>○○○○</u>)
(2) ○○○○○○	—	平成○年○月	第○回○○学会、東京	(概要を200字程度で) 担当部分:○○○○○ (<u>○○○○</u> 、○○○○、○○○○)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 著書等名（共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む）は、（ ）書きで訳文を記載してください。 </div>				
(3) Effects of …… in Japanese (日本における…の影響)		平成○年○月	The00th...Nursing Conference,Glasgow,UK	(概要を200字程度で。日本語のみ) 担当部分:○○○○○ (Xxxxx X. Yyyyy Y. <u>Marumaru M.</u>)
2 研究費の取得状況 (1) ○○○○○○	単	平成○年～ 平成○年	科学研究費補助金 研究活動スタート支援	(概要を200字程度で)
(2) ○○○○○○	共	平成○年～ 平成○年	科学研究費補助金 基盤研究C	(概要を200字程度で) 担当部分:○○○○○ ○○○○(研究代表者)、 <u>○○○○</u>
3 地域貢献・産学官連携 (1) 臨床実習指導者研 修会講師	—	平成○年～ 平成○年	—	○○県厚生部主催講習会で、「○○看護 学」と「○○実習」の講師を務めた。
(2) 患者会活動支援	—	平成○年○月	—	○○県○○病患者会の定期総会で、患者 と家族を対象に、「○○病の○○」について講 演した。

教育研究業績書の記載方法について

1. 「希望職位」の欄について

「希望職位」の欄には、希望する職位を丸で囲んでください。複数選択することも可能です。

2. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記載してください。

「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記載してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記載してください。

※科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」がご不明な場合は、日本学術振興会のウェブサイト『系・分野・分科・細目表』のページを参考に記載してください。

3. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- (1) 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記載してください。
- (2) 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記載してください。
- (3) 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記載してください。

4. 「研究業績等に関する事項」の欄について

- (1) 研究業績等に関する事項の記載年数については、下表のとおりです。

名称	各項	著書、学 術論文等 の名称	単書・共 著の別	発行又 は発表 の年月	発行所、発表雑 誌等又は発表 学会等の名称	概要
(著書)		10年分				5年分
(学術論文)		5年分				5年分
		<small>※博士又は修士の学位論文については、過去5年以前であっても記載してください。</small>				
(その他)1 学会発表		5年分				5年分
(その他)2 研究費の取得状況		10年分				5年分
(その他)3 地域貢献・産学官連携		10年分				5年分

- (2) 「著書、学術論文等の名称」の項について

- ① 研究等に関連する主要な業績を「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記載してください。
- ② 著書については、書名を記載してください。
- ③ 当該著書等が外国語で著されている場合、著書等名(共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む)はその外国語で記載するとともに、括弧書きで訳文を記載してください。

- ④ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記載してください。博士又は修士の学位論文については、過去5年以前であっても記載し、博士又は修士の学位論文である旨を明記してください。
 - ⑤ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記載してください。
 - ⑥ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- (3) 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記載してください。なお、学会発表等の場合は「-」を記載してください。
 - (4) 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記載してください。
 - (5) 「発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称」の項について
 - ① 著書については、発行所を記載してください。
 - ② 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
 - ③ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
 - (6) 「概要」の項について
 - ① 過去5年分の当該著書等の概要を200字程度で記載してください。
 - ② 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要（200字程度）のほか、以下の事項を記載してください。
 - ・本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記載すること）。
 - ・本人の氏名（下線を付すこと）を含む著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）（当該著書等に記載された順に記載すること）。
 - ③ 当該著書等が外国語で著されている場合、その概要は日本語で記載ください。